

檸檬のころ

れもんのころ

すべてが、きらめいていた。

誰しもが通り過ぎてきた、甘くて痛いあの時間——

榮倉奈々 谷村美月

柄本佑 石田法嗣 林直次郎 (平川地一丁目)
浜崎貴司 石井正則 中村麻美 織本順吉 大地康雄 (特別出演)

脚本・監督: 岩田ユキ 原作: 豊島ミホ「檸檬のころ」(幻冬舎文庫)

主題歌: 林直次郎「hikari～檸檬のころ～」(DefSTAR RECORDS)



製作: 日下部圭子、見城徹、奥田誠治、平井文宏、澤村功、高松征雄、齋藤清衛
企画・プロデュース: 日下部孝一 プロデューサー: 黒谷瑞樹 プロダクションスーパーバイザー: 高橋伴明 アソシエイトプロデューサー: 綱川仁士
撮影: 小松原茂 照明: 三善章善 録音: 長島慎介 美術: 仲前智治 スクリプター: 内田絢子 音楽: 加羽沢美濃 編集: 日下部元孝 助監督: 海野敦 制作担当: 平原大志
製作: 「檸檬のころ」製作委員会 (ゼアリスエンタープライズ、幻冬舎、日本テレビ放送網、パップ、下野新聞アドセンター、RADIO BERRY、とちぎテレビ)
企画・制作・配給: ゼアリスエンタープライズ 支援: 文化庁 特別協賛: 芳賀町 ©2007「檸檬のころ」製作委員会

www.lemon-no-koro.com

檸檬のころ

初めての通学電車。初めての片思い。初めての告白。初めての仲間。初めての恋。

すごい！世界ってこんなに熱いものだったんだ。

大人になったら味わえない。味わわずには大人になれない。

田んぼと山に囲まれた町の普通の高校生たちのキラキラした瞬間。

吹奏楽部の指揮者である高校三年生の秋元加代子(榮倉奈々)は、なんだってうまくこなし、成績も優秀。東京の大学に進学すると決めている。野球部の西巧(石田法嗣)は、いつも加代子を見つめていた。忘れられない、中学時代の淡い思い。そんな西に、ある日の放課後、野球部のエース佐々木富蔵(柄本佑)が、おちゃらけて言った。「オレ、加代ちゃんのこと好きなんだ」。絡まない、西と加代子の視線。近づいていく加代子と富蔵の距離。教室の片隅で音楽にのめり込んでいる、白田恵(谷村美月)。将来は音楽ライターになると、心に決めている。ある日、白田は自分と同じように音楽を“感じている”軽音楽部の辻本一也(林直

次郎)を知る。偶然の、ふたりきりでの生物室の放課後清掃。盛り上がる音楽談義。「こんなに話が合うやつとしゃべったの、俺、初めてだよ」。急に色鮮やかに、輝いて見えるいつもの風景。心にロックが鳴り響く。

もうすぐ最後の文化祭。辻本が、初めて作った曲の作詞を白田に頼んだことから、様々なドラマが動き出す。たくさんの痛みを通じてあふれ出た白田の言葉が、加代子に響き、富蔵や西にも影響をあたえていく。

5人、それぞれの思いが交錯していく中、季節は移り変わる。別れの日が近づいてきていた。



今最も新しい、若き才能たちによる、珠玉の青春映画の誕生。

原作は、24歳の豊島ミホの『檸檬のころ』。読む人それぞれのあのころを呼び覚まし、静かなロングセラーとなっている。脚本・監督は、本作が長編映画第1作目となる新鋭・岩田ユキ。主人公の秋元加代子役には、同世代から圧倒的な支持を集めている榮倉奈々。初めての恋、上京…、揺れ動く繊細な感情を瑞々しく演じている。もう一

人の主人公、白田恵役には、映画出演が相次ぐ谷村美月。無口な音楽少女の成長を豊かな表情で演じ、観る人の心に迫る。また、映画・TVでの活躍がめざましい柄本佑、そして石田法嗣。さらに、今回が映画初出演となる兄弟ギターデュオ「平川地一丁目」の弟、林直次郎。今最も輝く10代の、またとない顔合わせが実現した。

3月31日(土)より待望のロードショー!

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中!

当日料金(税込): 一般¥1,800/学生¥1,500/小・中・シニア¥1,000

初日舞台挨拶決定!

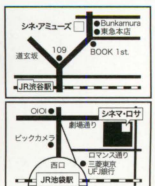
ゲスト(予定): 榮倉奈々、谷村美月、柄本佑、林直次郎(平川地一丁目)、岩田ユキ監督
※詳しくは、劇場または公式HP [www.lemon-no-koro.com] をご覧ください。

渋谷シネ・アミューズ

(自由席・各回入替/整理券制)
渋谷文化村通り東急本店前フォンテビル4F
TEL.03-3496-2888 www.cineamuse.co.jp
水前実施中! 毎週水曜日は¥1,000均一!

池袋シネマ・ロサ

西口・ロサ会館1F
TEL.03-3986-3713
<http://www.3.ccn.ne.jp/~rosanet/>
毎週水曜日よりレディースデー ¥1,000



※上映時間は、各劇場にお問い合わせ下さい。